

— モンスーンに吹かれたように —



ワグネル・ムトゥ「おもむき」(映画の一部) 2013  
Wangeshi Mutu, The End of eating Everything, (still of the film) 2013 Courtesy of the artist

# 大移動と交流の

—Blows Like a Monsoon— Contemporary Afro-Asian Arts on the Great Journey and Exchange

# アフリカ→アジアの 現代美術

2026.3.13 fri. — 6.14 sun. ※会期中、一部展示替えがあります

開館時間：10:00—18:00 (入場は17:30まで)

夜間開館日：3月20日[金・祝]、4月17日[金]、5月15日[金]は20:00まで(入場は19:30まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)、5月7日[木] 臨時休館 3月30日[月]—3月31日[火]

観覧料：一般1,000円(900円)、大学生800円(700円)、高校生以下無料

\*( )内は20名以上の団体料金

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

または登録者証の交付を受けている方とその付き添いの方(1名まで)は無料 ミライロIDが利用できます

主催：岐阜県美術館 共催：中日新聞社 後援：NHK岐阜放送局

[出品作家]

石川真生、クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター)、エリアス・シメ、ワンゲシ・ムトゥ、フィエル・ドス・サントス、ジョエル・アンドリアノメアリソア  
チエ・ウォンジュン、長谷川愛、吉國 元、マフディ・エシャエ、なみちえ (順不同)

[特別出品]

堺市博物館蔵：《相撲遊楽図屏風》《異国人物図巻》(前期展示) / 《南蛮屏風》(後期展示) ※会期中展示替えあり

 岐阜県美術館  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22 Tel.058-271-1313 Fax.058-271-1315 <https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>

— モンスーンに吹かれたように —

# 大移動と交流の アフリカ—アジアの 現代美術

—Blows Like a Monsoon— Contemporary Afro-Asian Arts on the Great Journey and Exchange

歴史に名を残す岐阜ゆかりの武将・織田信長には、モザンビーク出身とされる弥助という家臣がいたことが『信長公記』などに伝えられている。彼のような存在は、歴史の表舞台から姿を消したとしても、季節風に乗ってインド洋を越えてきたアフリカとアジアの交流を示している。現在のアフリカ大陸は植民地支配の影響で、さまざまな文化・民族集団の存在が見過され、緯度と経度による直線で区切られた国境で分断されている。これに対して弥助が象徴するのは、境界を超えたダイナミックな移動と交流である。

かつては、西洋中心主義的視点から、アフリカの造形物は「プリミティブ・アート」として原始的で素朴なものであるという定型的な評価がなされた。しかしアフリカやアジアが交わる地域は西洋だけではない。現代の作品は、ダイナミックな移動と交流をテーマとすることが多く、季節によって向きを変えるモンスーンのように、アフリカとアジアを行き来する。そうして、移動と交流によって生まれる現代美術の視点の転換が、自らのアイデンティティを見つめ直し、人類の持つ創造性の豊かさを捉え直す機会を与えてくれる。



1



2



3



4



5



7



8



9



10



6

- 1 石川真生「アカバナ」(1975-77)より ©Mao Ishikawa
- 2 エリアス・シメ《タイトロップ・モバイル》(部分) 2009-14 Elias Sime, *Tightrope Mobile*, (part) 2009-14 Courtesy of the artist and James Cohan, New York
- 3 フィエル・ドス・サントス《フルト奏者》2012(国立民族学博物館蔵)
- 4 ジョエル・アンドリアノメアリスア「LE MUR DES VENTS」より、2026 Joël Andrianomearisoa, in "LE MUR DES VENTS," 2026 photo: Studio Joël Andrianomearisoa
- 5 チェ・ウォンジュン《三姉妹、坡州》(「キャピタル・ブラック」より) 2021 Che Onejoon, *Three Sisters, Paju*, in "Capital Black," 2021 Courtesy of the artist
- 6 長谷川愛《Alt-Bias Gun》2018
- 7 吉國 元《Portrait of Abou Ba》(『MOTOマガジン vol.002』より) 2022
- 8 マフディ・エシャーエイ《アーミンとレザ / ガーダー・カーニ》(「アフロ・イラン」より) 2014 Mahdi Ehsaei, *Armin and Reza / Ghader Khani*, in "Afro-Iran," 2014
- 9 なみちえ《こあ(心に愛のある犬)》(「Kigroom」より) 2023 撮影:片岡佑太
- 10 《相撲遊楽図屏風》(六曲一隻)江戸時代(堺市博物館蔵)【特別出品・前期展示】 ※会期中展示替えあり

## 関連イベント

### ギャラリートーク

出品作家・関係者に作品の前でお話いただきます  
(当日の参加者・順番については  
当館Webサイトをご確認ください)  
日時: 3月13日[金]  
13:00-16:00  
場所: 展示室3  
(要観覧券  
事前申込み不要)

### アーティストトーク

出品作家・関係者より、今までの創作についてお話いただきます  
(当日の参加者・順番については  
当館Webサイトをご確認ください)  
日時: 3月14日[土]  
13:00-16:00  
場所: 講堂  
(聴講無料  
事前申込み不要、定員170人)

### ナンヤローネ アートツアー

日時: 4月29日[水・祝]  
14:00-15:30  
場所: 多目的ホール、展示室3  
(要観覧券  
要事前申込み)  
担当: 岐阜県美術館教育普及係

### 《Alt-Bias Gun》の実演

日時: 3月14日[土]  
11:00-12:00  
6月14日[日]  
15:00-16:00  
場所: 展示室3  
(要観覧券  
事前申込み不要)  
出演: 長谷川愛  
(本展出品作家)

### 本展担当学芸員によるトーク

日時: 3月20日[金・祝]  
14:00-15:00  
5月 6日[水・祝]  
14:00-15:00  
場所: 多目的ホール、展示室3  
(要観覧券  
事前申込み不要)  
担当: 西山恒彦  
(岐阜県美術館学芸員)

\*詳細は当館Webサイトにて  
ご確認ください。  
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>



### 【交通案内】

- 公共交通機関ご利用の場合
  - JR東海道本線 岐阜駅南口から徒歩(約15分)
  - 岐阜バス(鏡島市橋線)  
JR岐阜駅南口から徒歩(約5分、復路約30分)  
→「県美術館」下車
  - 岐阜市コミュニティバス  
西ぎふ・くるくるバス(1日7便、市橋地区循環)  
JR西岐阜駅南口から乗車(約5分、復路約30分)  
→「県図書館・美術館」下車
  - すまいるバス(1日9便、三里・本荘地区循環)  
→「県図書館・美術館」または「県美術館北」下車
- タクシーご利用の場合  
JR岐阜駅または名鉄岐阜駅から乗車(約10分)  
JR西岐阜駅から乗車(約5分)
- 自家用車ご利用の場合  
名神高速道路 岐阜羽島ICから県庁方面へ北進 約10km  
東海北陸自動車道 岐阜各務原ICから国道21号線を西進 約10km  
東海環状自動車道 岐阜ICから国道77号線を南進 約10km
- 無料駐車場有  
車いす等をご利用の場合は、「おもいやり駐車場」(美術館北東6台有)をご利用ください

本展の開催にあたって次の方々にご協力いただきました。(順不同)  
堺市博物館、特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク、株式会社らぐだスタジオ  
Collective AfroAsia, Gladstone Gallery, KYOTOGRAPHIE, nca | nichido contemporary art  
POETIC SCAPE, STANDING PINE, Studio Joël Andrianomearisoa, Taguchi Art Collection / Taguchi Art Foundation  
Wangechi Mutu Studio

